

生活者ネットワークの議員は、市民主体のまちづくりを実現するため、市民と議会、行政をつなぎます。市民の視点で、情報公開をすすめて、区政を変えていきます。

生活者 ネットワーク 区議レポート ②

2005年11月28日 No.2

発行 生活者ネットワーク

発行責任者 橋本牧

〒176-0012 練馬区豊玉北4-27-2

電話 03-3993-4899 FAX 03-5999-4632

URL <http://www.nerima-net.gr.jp>

Eメール info@nerima-net.gr.jp

ますます遠くなる「介護の社会化」



▲介護保険法の改正により、施設の居住費と食費が自己負担になる。あわせてデイサービスの食費も自己負担に。写真は区内の特別養護老人ホーム

施設の利用者が増え、施設の負担も増大します。事業者の経営努力によっても質の低下は避けられない。利用者への直接的な負担増となるだけでなく、施設を運営する事業者にとっても減収となり、施設の負担も増大します。事業者の経営努力によっても質の低下は避けられない。利用者への直接的な負担増となるだけでなく、施設を運営する事業者にとっても減収となり、施設の負担も増大します。

改正介護保険法は、施設の居住費や食費を保険給付の対象外とし、利用者に負担を求めるものです。練馬区議会では、区立特別養護老人ホーム条例と区立デイサービスセンター条例の改正が提案されました。これに対し、生活者ネットワークは次の理由により反対しました。

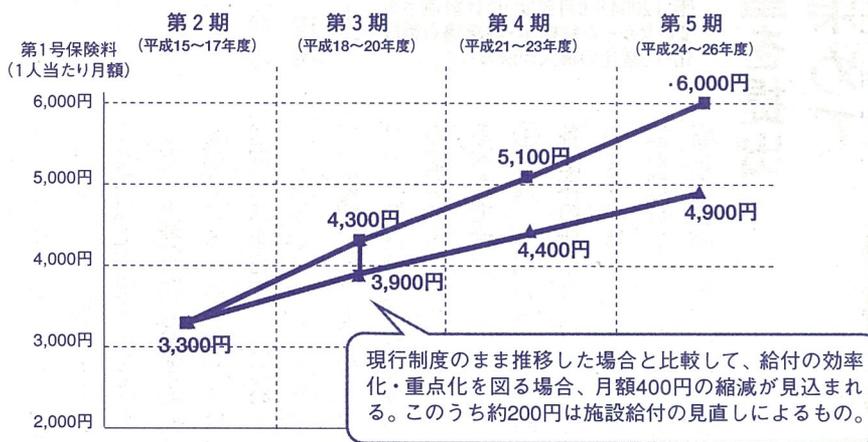
施設の 居住費や食費が 保険給付の対象外に

家族による介護の行き詰まりから、介護の社会化がいわれ、2000年4月介護保険制度がスタートしました。しかし、介護の受給が増えれば増えるほど、介護保険制度は財政的に膨らむしくみになっています。この対応策として、いかに保険料収入を増やし給付額を抑制するか。5年目の見直しにあたる今回の改正はこの点に主眼をおいたものです。

介護保険制度の改正を検証する

施設ではプライバシーに配慮した個室化が進められていますが、居住費の負担のために個室を希望しても利用できないケースも出てきます。実際、個室から相部屋へ移動したという話を聞きます。これは個が尊重される介護の理念に反します。このように、利用者にとって高負担、低サービスが明白な今回の条例改正には、到底賛成できるものではありません。この改正の行き着く先は、施設に入る余裕のない人を居宅での家族介護に閉じ込め

●第1号保険料(全国平均)の見直し—ごく粗い試算—



▲厚生労働省の資料より

暮らしの中に次々押し寄せる負担の波、それによる区民の不安を行政がどのくらい受け止め、対応するか、姿勢が問われます。経済的負担から利用抑制につながることは、高齢者や介護者に及ぼす影響が懸念されます。介護保険制度の見直しのたびに、利用できなくなる層が広がることのないよう、保険者である練馬区に働きかけていきます。

●このニュースは古紙再生紙を使用しています。

介護施設入所者の自己負担額

施設	タイプ	これまで		10月から	
		食費	居住費	食費	居住費
老人ホーム	ユニット型個室	2.6万円	4~5万円	4.2万円	6万円
	相部屋	2.6万円	なし	4.2万円	1万円
施設 老人保健	相部屋	2.6万円	なし	4.2万円	1万円
	相部屋	2.6万円	なし	4.2万円	1万円

要介護5の標準的モデル。実際の必要額は施設ごとに差がある

られず、結局は利用者へ間接的な負担を強いることになってしまいます。

質と量を上げるべきと考えます。

「公平」は意味がありません。私たちは、在宅サービスの質と量を上げるべきと考えます。在宅サービスの質と量を上げるべきと考えます。

区議会議員
山本ふき子



健康福祉委員会
地域医療介護等調査特別委員会
<http://yamamoto.seikatsus-ha.net>

介護保険料の 値上げ 900円?

10月から先行して始まった居住費と食費の自己負担については私たちが危惧したさまざまな問題が現実になってきています。

練馬区では来年度から、介護保険料の基準月額額は現行3300円を4200円と、900円の値上げが提案されています。03年は介護保険給付準備基金の取り崩しにより、当初3600円の提案だったものを3300円と、500円値上げのところを2000円に押さえた経緯があります。1か月900円もの値上げは区民にとって大変な負担であり、今回も18億円ある基金の取り崩しを強く働きかけています。

都議会議員山口文江とともに活動しています



●区内で開かれたイベント会場の「区政・都政相談コーナー」で、市民からの相談を受ける、都議会議員山口文江(中央)と区議山本ふき子。11月20日

04年度決算に反対 区民福祉の向上を 実現する区政運営を

区議会議員 橋本 牧



幹事長 議会運営委員会
企画総務委員会副委員長
地方分権等調査特別委員会
http://hashimoto.seikatsusha.net

生活者ネットワークは第3回定例区議会で2004年度一般会計決算に反対しました。

03年に出された「新行政改革プラン」にもとづくはじめての決算です。しかしここには、今まで練馬区行政が担ってきた公共性とは何なのかを示されていません。

このプランによりすべての区立施設に、指定管理者制度や業務委託の導入がすすめられています。すでに当初計画された54施設のうち37施設と、駐車場や駐輪場など当初計画にない90施設にも導入が決まっています。今後の方向性を示さないまま一律に委託化・民営化につきすすむことは、「区民福祉の向上」を掲げる区政運営とは言い難いものです。そのため、多くの区民に不信をもたらしています。

また、04年度には、「安全・安心条例」が制定され、パトロールの強化をはじめとする防犯対策がすすめられました。所得格差が広がる中で、税金や社会保険料の負担増とともに、

生活の先行きが見通せないことからくる不安感を払拭することが、区民の求める「安全・安心」です。防犯対策だけでは、区民の期待に応えられません。以下の理由で反対しました。

①住民基本台帳ネットワークは導入から3年経過し1億円以上の税金が投入されています。住基カードの発行数は3500枚、区民の利用はほ

第3回定例区議会に意見書提出を提案

※全会派の賛成が得られず、提出は実現していません。
憲法改正国民投票法案の慎重審議を求める意見書(案)

郵政民営化を争点とし、与党が3分の2を占める結果となった総選挙後の特別国会で、衆議院憲法調査特別委員会の設置が決められた。この特別委員会設置目的に「国民投票制度の調査」が明記されており、改憲手続きを定める国民投票法案を審議することになる。国民投票法の狙いが憲法9条の改定にむけた条件づくりであることは明白であり、日本を海外で武力行使できる国に変えようとするものである。

しかし、憲法に関わる最も大切な問題を憲法とは何かという国民的合意もないまま、十分に議論されることなく決めてしまおうの国民不在である。
また、法案にはメディアに関する報道のあり方や賛否の運動への規則があり、国民主権の観点からも問題がある。
憲法が施行されて58年、この憲法の下、日本が戦争により人命を失うことがなかった事実を誇りに思う練馬区議会は、憲法「改正」国民投票法案の慎重な審議を求めるものである。

とんどありません。自己情報コントロール権の保障もできず、税金の無駄づかいといしか言えない住基ネットはやめるべきです。
②外環の青梅街道インターチェンジは地元の町会や住民、隣接の杉並区の方たちが、生活保障の問題、環境悪化の問題などから反対しています。



▲「区立施設委託化・民営化実施計画」(2004年9月策定)には計画されなかった駐輪場・駐車場も委託化・民営化の導入が決まった

06年度予算要望を提出 市民の声を集めて 政策提案

区議会議員 吉川みさ子



環境まちづくり委員会
清掃リサイクル等調査特別委員会
http://kikkawa.seikatsusha.net

インターチェンジ設置の効果は明確ではなく、建設費用も概算で2000億円以上が税金から支出されます。また、上部街路も必要ありません。
③福祉コミュニティバスは福祉園の送迎バスを転用したため、非常に利用しづらく、コミュニティバスとしての機能がありません。交通マスタープランを区民とともに検討し、区民の望むコミュニティバスの実現を図るべきです。
④区長、一部の議員は賀詞交換会と各団体の新年会に重複して出席しています。新年賀詞交換会は当初の開催の趣旨から実態がかけ離れており、廃止も含めて見直すべきです。

⑤子どもを有害物質から守るために、学校では有機化合物含有ワックスや農薬を使わないなど、シックスクール対策をおこなうこと。
⑥地区区民館などの公共施設に、中高生が音楽練習できるような防音機能改修を行うこと。
⑦廃プラスチックを清掃工場で焼却しないための対策をとること。
いずれも当事者や区民の方々からの切実な声をまとめたもので、ぜひ予算をつけて実現したいと思います。
新年賀詞交換会や外環の青梅街道インターチェンジと上部街路などは必要ないので、このような事業には予算をつけないよう要望しました。

来年度は事業部制が本格実施となります。これによって、各部に予算・人事などに関する権限が委譲され、区民に最も身近なところで意思決定、予算編成が行われると区は説明しています。このことではこれまでより区民の意見が反映されやすくなるなければなりません。

市民からの政策提案とも言える生活者ネットワークの予算要望が実現して、区民生活がより豊かなものになるよう、あらゆるところで発言していきたいと思っています。

練馬区の来年度予算にむけて、生活者ネットワークは区長に予算要望を提出しました。私たちの予算要望は、前号の区議レポートで募った区民のみならずからの「一言提案」をもとに調査し、検討してまとめあげたものです。毎年予算要望を行っており、今回85項目を提案しました。重点項目は次の7項目です。
①平和祈念事業はコンサートに限定せず、公募区民による実行委員会方式など区民主体で行うこと。
②NPO支援センターの中に、立ち上げ期のNPOを助成し、育てるために資金が借りられるしくみをつくること。
③男女平等社会実現のために、ドメ

INFORMATION

インフォメーション

★練馬から自衛隊は
イラクに行くな！ 1.15集会デモ

2006年1月15日(日) 13:00～
徳丸第2公園(東武練馬駅北口)

★イラクの自衛隊撤退と
沖縄の米軍基地撤退を求める
実行委員会

2006年1月21日(土) 時間未定
防衛庁デモ(予定)
連絡先: 千代田区三崎町3-1-18
近江ビル4階
FAX03-3234-4118

お問い合わせ ☎3993-4899
＜練馬・生活者ネットワーク＞まで

生活者ネットワークのルール

- 1 議員を職業化せず、特権化しないために、議員は最長2期(8年)でローテーション(交代)します。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
- 3 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

編集後記 市民と行政の協働とはいけれど、どう考えてもフェアじゃないと思うことがしばしば。「便利」な言葉にははいけませんね。(橋)